

科目名	障害児保育研究				
担当者氏名	岡田 強志				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	4年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 専門応用-4 発達の深い理解 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

本授業は、「障害児保育Ⅰ・Ⅱ」「子ども家庭福祉」「社会福祉」などで学んできた障害児やその家族に関する知識や支援方法を統合し、より実践的な学びへと展開していきます。テキストや動画を活用した学びを中心としつつ、実践レポートや論文を読むことも取り入れます。教育や福祉の現場で求められる視点、自分の考えを言語化すること、多様な意見を受け入れること、このような実践力を養成することを目指します。

《授業の到達目標》

- ・障害特性を生かした保育の進め方や共に育つ保育について、自分の考えを説明することができる。
- ・仲間と共に育つ保育の進め方を計画することができる。
- ・児童およびその家庭を支援するために必要な制度と社会資源に関する情報を収集することができる。
- ・適切なアセスメントを基に個別支援計画を作成することができる。

《成績評価の方法》

授業内提出課題：60%
 科目修了レポート：40%
 ※評価の詳細は、第1回目の授業で示します。

《テキスト》

藤野恵美著「ギフトッド」光文社、2022年

《参考図書》

齊藤勇紀・守 巧 編著 山田謙一 医療監修・著
 「子どもが共に育つための障害児保育」、萌文書林、2022年
 尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子 編著
 「よくわかる障害児保育 第2版」ミネルヴァ書房、2018年
 日本相談支援専門員協会 編集
 「障害のある子の支援計画作成事例集」中央法規、2016年

《授業時間外学習》

本授業は、履修者が主体的に学ぶことを求めます。事前学習として、テキストや配布資料の指定範囲を読み込み、授業に出席してください。また、新聞やテレビ、YouTubeなどから、障害児・者に関する話題、児童福祉政策の動向などを身近に感じ取るよう努めてください。授業終了後は授業内容を振り返り、自身の関心に合わせた学びを深められるよう期待しています。

《備考（教員経験の有無）》

保育士、社会福祉士
 これまでに児童養護施設および乳児院の児童指導員、スクールソーシャルワーカーとしての実務経験があります。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンスー「障害」を学ぶことを理解する	本科目の授業内容、進め方、成績評価の方法について説明します。今、自身にある「障害像」を確認し、これからの学びのマイルストーンを設定します。
2	Active Book Dialogue®を体験する	1冊の本を分担して読み込み、共有する読書法を体験します。
3	療育・発達支援とは何か	「障害」と「療育・発達支援」の基本的概念を学びます。
4	発達障害を理解する① 知的障害、LD	知的障害、LDの症状がある子どもの障害特性、援助方法を学びます。
5	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由を理解する	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由の症状がある子どもの障害特性、援助方法を学びます。
6	発達障害を理解する② ADHD、ASD	ADHD、ASDの症状がある子どもの障害特性、援助方法を学びます。
7	愛着障害を理解する	愛着障害とはなにか、その基本的概念を学びます。
8	ギフトッドを知る	ギフトッドといわれる子どもの姿、ギフトッドをめぐる政策について学びます。
9	医療的ケア児を知る	医療的ケア児とはどのような子どもなのか、医療的ケア児をめぐる政策について学びます。
10	発達支援に関わる職種とその役割	他機関・多職種連携の実際と専門職のはたらきかけについて学びます。
11	ICFの理解と活用方法を知る	ICF（国際生活機能分類）を活用して、障害児を支援する方法を学びます。
12	アセスメントの基本とチームアプローチ	障害児やその家族を支援する基盤となるアセスメントの手法を学びます。
13	アセスメントから個別の児童発達支援計画	事例を活用して、子どもとその家族のアセスメントを行い、個別支援計画を作成します。
14	療育・発達支援における家族支援	事例を活用して、家族支援のあり方とその方法を考えます。
15	療育・発達支援機関における就学支援	「障害児保育」から「障害児教育」へ 支援の連続性、保育ソーシャルワークについて考えます。